41 01 02 01 12 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月31日（日）

事務事業	交通安全啓発事業	担当課	道路管理課	担当係	交通安全係	管理番号	4128
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	交通安全対策基本法 深谷市交通指導員運営規則				
中項目	200002 交通アクセスの便利なまちづくり						
小項目	200002 公共交通の維持確保と交通安全の推進						

事業概要	交通安全意識の高揚を図るため、各種団体等と連携し、交通安全教室、講習会の開催や各季交通安全運動街頭キャンペーンなどを展開するものである。また、交通指導員を委嘱し、通学路における立哨指導を行うものである。
目的 ※何のために	交通事故の発生防止
対象 ※誰・何を対象に	市民
手段 ※どのように	交通安全教室、交通安全講習会、交通安全運動街頭キャンペーン等を行う。
成果 ※何を求めるか	交通安全の意識の高揚を図る。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	02	総務費	01	総務管理費	12	交通安全対策費	交通安全啓発事業	14,995,049
一般会計	02	総務費	01	総務管理費	12	交通安全対策費	交通安全啓発事業（廃事業）	0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 保育園、幼稚園、小中学校交通安全教室	・ 交通指導員の任命
・ 高齢者交通安全講習会	・ 交通指導員会議の運営
・ 各交通安全運動	・ 交通指導員の活動計画の策定
・ 交通安全計画の策定	・
・ 交通安全協会補助金交付	・
・ 交通安全母の会活動支援	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			交通指導員運営事業を統合		交通安全教室 交通安全街頭キャンペーン 交通指導員による立哨指導等			
事業費	予算（現額）		17,027,000	16,980,000	16,573,000	17,037,000	15,952,000	
	決算額		15,843,433	16,202,677	14,995,049	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	500,000	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	15,843,433	15,702,677	14,995,049	17,037,000	15,952,000	
人件費	従事職員数（人）		1.38	1.42	1.42	1.39	1.39	
	人件費相当試算 ※1		7,701,210	11,050,440	11,162,620	11,325,720	11,325,720	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			23,544,643	27,253,117	26,157,669	28,362,720	27,277,720	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	交通安全教室実施数	目標値	回	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	□
			実績値		29.00	29.00	29.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		市主催の交通安全教室を市内すべての公立小中学校で実施することを目標値として設定							
		実数									
□	活動指標２	交通指導員委嘱数	目標値	人	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	□
			実績値		40.00	40.00	39.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		適正な交通指導員の配置人数を目標値として設定							
		交通指導員数									
■	成果指標１	児童生徒交通事故件数	目標値	件	69.00	51.00	48.00	45.00	42.00	39.00	□
			実績値		54.00	49.00	40.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年より事故件数を減少させることを目標値として設定							
		実数									
■	成果指標２	高齢者交通事故件数	目標値	件	135.00	118.00	112.00	106.00	100.00	94.00	□
			実績値		124.00	102.00	118.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年より事故件数を減少させることを目標値として設定							
		実数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 市内すべての公立小中学校の交通安全教室について、目標値どおり実施することができた。なお、交通指導員については、先方都合により１名欠員となっているが、引き続き、通学路の危険個所において毎朝、立哨指導を実施できている。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 児童生徒の交通事故件数については目標値を達成しているが、高齢者の交通事故件数については、目標値を達成できなかった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	交通安全係長　荻原　康裕

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	交通安全啓発事業	担当課	道路管理課	担当係	交通安全係	管理番号	4128

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

通学路の危険箇所には、交通指導員による立哨指導が行われており、立哨指導中の事故はなく児童は安全に登校できている。今後も、交通事故ゼロを目指し、根気強く啓発を行う必要があることから、現状のまま継続としたものである。

評価者	道路管理課長　宮下　昌規

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

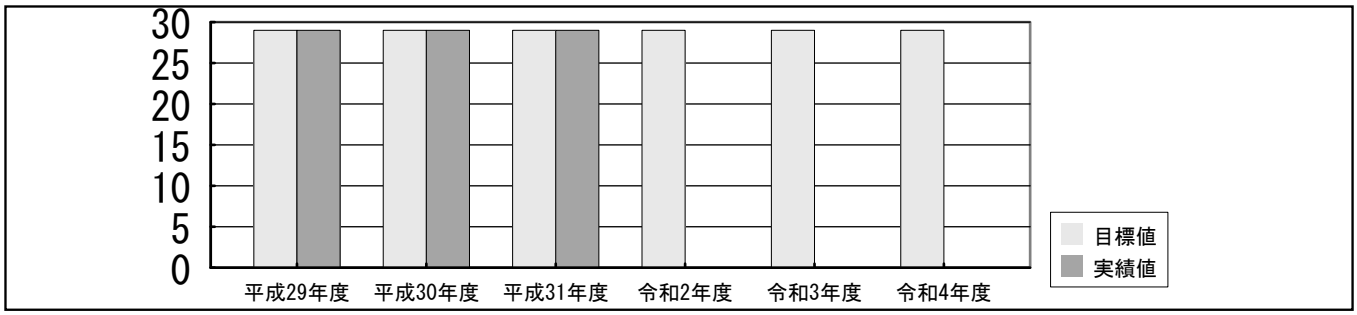
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

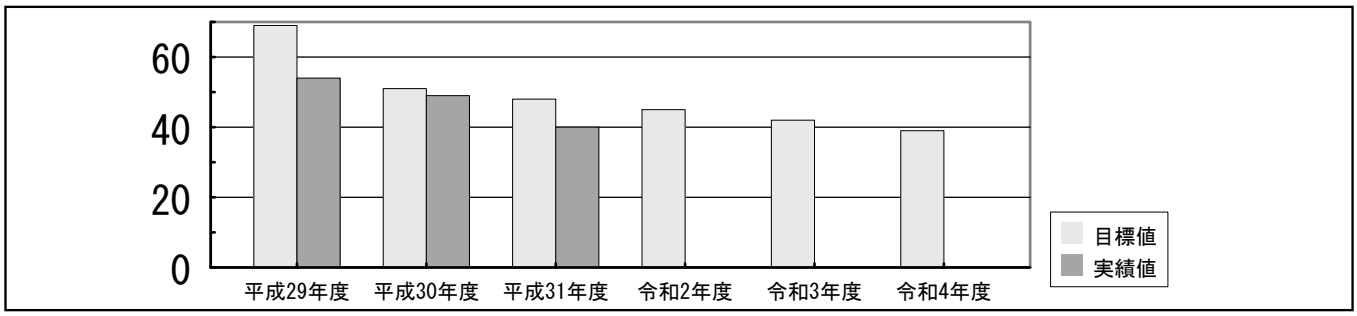
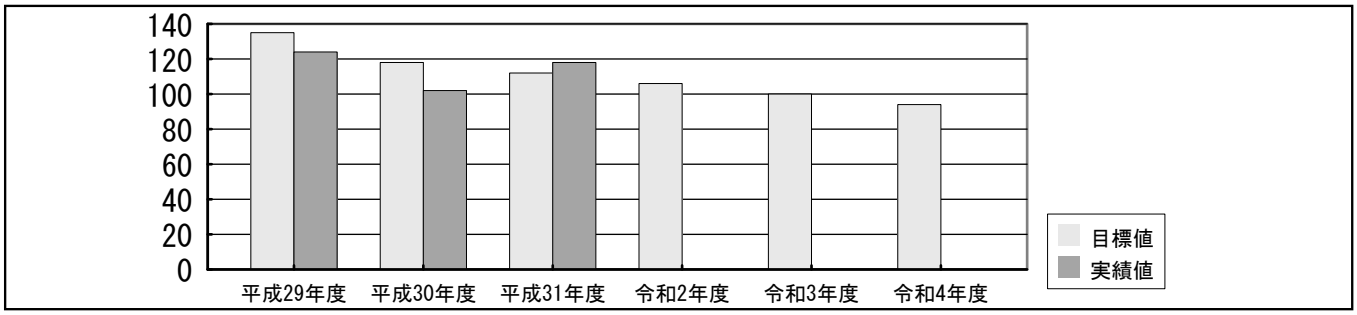
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	交通安全教室実施数



区分	成果指標１	指標名	児童生徒交通事故件数



区分	成果指標２	指標名	高齢者交通事故件数